

あずま小学校だより

学校通信 第7号 平成28年9月5日
学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



チームワークと学びの2学期

2学期が始まりました。子どもたちが元気に学校に戻ってくることができたのは、何よりうれしいことです。交通事故・水の事故・痛ましい事件など、小学生の命が奪われるニュースがいくつもありました。当たり前前に新学期をむかえられることのありがたさを感じます。

今年の夏は、リオデジャネイロオリンピックが大きな話題でした。水泳・柔道・バドミントン・体操・卓球・レスリング・陸上などメダルもたくさん獲得し、感動的な場面が数多くありました。中でも男子400メートルリレーの銀メダルは圧巻でした。4人とも9秒台で走れる選手でなく、個人ではファイナリストでないのに、高度なバトンパスとチームワークで、ボルトのジャマイカに迫りました。2学期は運動会をはじめ、たくさんの行事があります。子どもたち一人一人が力を伸ばすとともに、仲間と力を合わせるチームワークを高める時です。

また、勉学の秋、読書の秋です。勉強はおもしろい。わからないことがわかるようになる。出来ないことが出来るようになることです。一人一人の学びを高める2学期にしたいと思います。



職員の異動について

俳句のころ

上毛ジュニア俳壇掲載

風鈴をろうかにかけて音を聞く	4年	(8月18日掲載)
ひまわりが風にゆられる日曜日	5年	(9月1日掲載)



活躍するあずまの子 8月の表彰から

- 市水泳教室記録会
女子100m自由形 2位 (校内歴代最高記録)
女子100m平泳ぎ 5位
女子50mバタフライ 6位
女子50m平泳ぎ 8位
- 県水泳教室記録会
女子100m自由形 5位
- JRCトレーニングセンター参加、修了
5年
- 第11回東名カントリークラブジュニアカップ 優勝 4年



新聞に載りました！

8/8(月) 上毛新聞

いじめ 防止宣言！

伊勢崎あずま小

校舎の廊下の壁には、ひとさわやかな色合いのポスターが掲示されている。戦隊ヒーローをイメージして赤、青、黄、桃色の衣装に身を包んだ児童会役員「なかよしレンジャー」の4人の写真に合わせ、「なかよし心を広めよう」「あずま小のなかよしをみんなで守ろう」との文字が踊る。

いじめを無くす取り組みは児童会が中心だ。児童会役員は「なかよしレンジャー」と「イジワル団」で役割分担。イジワル団は友達に悪口を言う、仲間外れにするといった日常の中で芽生える「イジワル心」を表現し、児童会会の寸劇形式などでアピールする。「いじめはやらぬことが当たり前」というメッセージを伝えている。

活動で「買してテーマの中心に据えているキーワードは「なかよし」。上級生がリーダーシップを発揮して下級生を引っ張り、学年を超えたつ

「なかよし戦隊」でアピール

登校楽しみな学校に

井上 円慈君(6年)

なかよしレンジャーやあいつ運動でみんなが仲良く過ごせる環境を整えている。登校するのが楽しみになるような学校にしたい。



ながりを強めることにも力を入れている。6年生が下級生の「先生」となって、勉強や運動など、要望に合わせてマンツーマンで教える「後輩に教えようプロジェクト」は代表的な取り組みの一つだ。レクリエーションなど遊びの交流だけでは生まれない「頼りにする・される」の関係を築くのを目的としている。

児童の間で、授業時間のみにとどまらない交流が生まれているという。取り組みについて、渡辺寛文教諭は「子どもたちは『日本』の学校にしよう」と言いながら頑張っている」と話している。

7月20日(水) 上毛新聞

水難事故に備え

伊勢崎あずま小 着衣水泳を体験



着衣水泳実習に取り組む児童

児童に水難事故から命を守る方法を教える。4年生が身を守る方法を学んで、不意な時の対処法も学んだ。伊勢崎あずま小 児童会役員 志保さん。

伊勢崎市東山会の認定を受けた、小規模で着衣水泳実習 伊勢崎市消防本部の協力を

・長スボンの体操着姿でプールに入った児童は、「浮いて待て」を各1組に、2のペットボトルを持って3分間浮いたままの練習に取り組んだ。

水に落ちた友人を助ける訓練では、ペットボトルを投げ入れ、「頑張れ、力を抜いて」と励まし、110番通報の仕方を学んだ。

本務校長は「子どもたちには、重大な命をしっかりと守ってほしい」と話した。

